

## 2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 20 日作成)

小委員会名	在宅ケア環境小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画本委員会	
設置期間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者・障害者の住宅改修支援に関する各地の状況、最新動向の把握(通年)</li> <li>・ケアマネジャー向け住宅改修研修用ビデオ、研修用ツールの開発(2004 年度)</li> <li>・開発したビデオやツールを用いた研修のあり方の検討(2005 年度)</li> <li>・住宅改修の効果・有効性の評価(2006~2007 年度)</li> </ul>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無: 有	
	大原一興(横国大) 糟谷佐紀(神戸学院) 北岡敏郎(有明高専) 古賀紀江(前橋工科大) 児玉善郎(日本福祉大学) 鈴木晃(国立保健医療科学院) 田中正敏(福島学院大) 榎木保匡(地域生活情報センター) 中祐一郎(名古屋女子大学) 野崎勉(愛知工業専門 学校) 橋本美芽(都立保健科学大学) 阪東美智子(国立保健医療科学院) 水村容子(群 馬松嶺福祉短期大学) 蓑輪裕子(聖徳大学短期大学部) 村上良知(熊本県大)	
設置 WG (WG 名: 目的)	在宅ケア環境情報WG(小委員会のホームページ作りについて、あるいは関連情報の収集と発信の方策について、検討を行う。)	
2005 年度予算	25,300 円	ホームページ公開の有無: 有 委員会 HP アドレス: <a href="http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s15/">http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s15/</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1. 報告書「ケアマネジャー向け住宅改修の研修プログラムの開発」 2. ビデオ「ケアマネジャーに必要な住宅改修アセスメント技術」全 3 巻
講習会	佐倉市等の自治体のケアマネジャー研修会などを通じて、研修用ビデオやツールを検証
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 公開研究会「住宅改修による自立支援や生活改善の効果・有効性の評価」 参加者数 32 名 2. 見学会「非バリアフリー住宅『三鷹天命反転住宅』」 参加者数 7 名
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 開発したビデオと報告書を自治体の介護保険課や介護実習普及センター等に配布し、研修での活用を促した
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. ケアマネジャー向け住宅改修研修用ビデオ、研修用ツールを開発した。 2. 開発したビデオ・ツールを用いて研修を実施し、研修内容の評価、研修のあり方の検討を行った。 3. 全国の自治体の住宅改修研修の実態調査、研修講師への意識調査、住宅改修アドバイザー制度の調査等を実施し、各地の状況の把握、課題の検討等を行った。 4. 介護保険制度の改正に関して厚生労働省の担当官に最新動向を聞いた。 5. 次年度の活動計画に関連して、公開研究会を企画・開催する(2 月末予定)。 6. ホームページを作成し、情報発信できるようにした。
委員会活動の問題点・課題	1. 予算規模が小さいため、地方の委員の上京に伴う旅費の支出に限界がある。 2. 医療・保健・リハビリ分野などの専門職との連携が必須であるが、学会員でないために委員就任を求められず、委員会への協力を仰ぎにくい。

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。